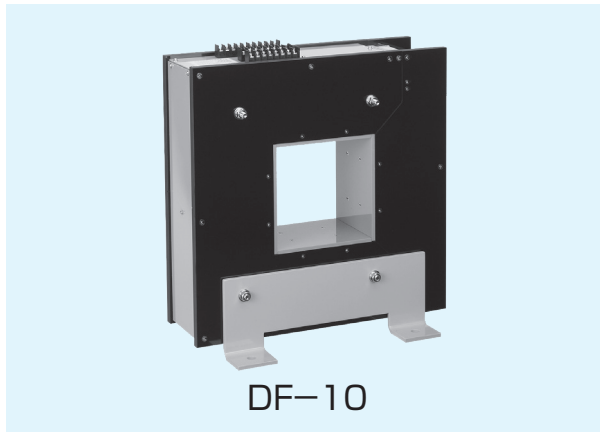


検出器

# 故障検出用変成器



直流き電回路に短絡故障が発生した際に、故障電流の増加分を検出する変成器です。

故障検出用変成器は分割できる構造となっており、既設の一次導体に容易に取り付けることができます。

弊社従来品から磁気センサの数を増やすことにより、低電流域においても正確な電流検出が可能となりました。

本装置とMEFTA型の故障選択装置と組み合わせることにより遮断不能[TA: Trip Accident]の検出が可能です。

検出器

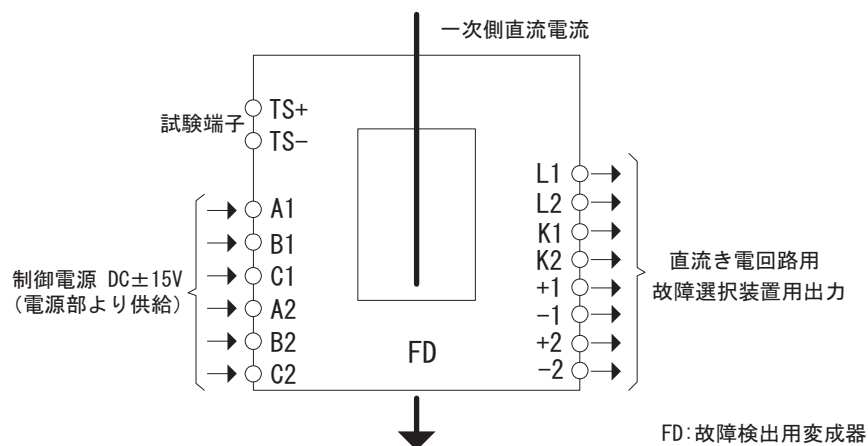
## 型 式

DF-10

## 標準構成数

直流き電回路用故障選択装置 (MEFTA-U2-1)	1台
故障検出用変成器 (DF-10)	1~5台
電源部 (SF-3T2)	1台

## 構成図例



検出器

故障検出用変成器

製品仕様

型式	DF-10		
使用場所	屋内用		
定格電流	DC 4000A		
周囲温度	-10℃~40℃		
対応する 故障選択装置	MEFTA（2重化構造品）		
制御電源	DC±15V（電源部より供給）		
許容一次電流突進率	di/dt 10kA/ms(1×10 <sup>7</sup> A/s) 【許容時間10ms以内】		
絶縁抵抗および耐電圧	一次貫通孔と端子一括・接地間	DC1000Vで50MΩ以上、AC5500V	1分間
	端子一括と接地間	DC500Vで10MΩ以上、AC2000V	1分間
	試験端子(TS+、TS-)と他端子一括・接地間	DC500Vで10MΩ以上、AC2000V	1分間
	K1、L1、K2、L2端子と他端子一括・接地間	DC500Vで10MΩ以上、AC2000V	1分間
質量	約16kg（故障検出用変成器の取付足の形状によります）		
塗装色	5Y7／1		

寸法図(DF-10)

